

1972年の刊行から40年、長らく翻訳を熱望されつづけた
プラトン論、マラルメ論を含むデリダの主要作品、ついに登場！

ジャック・デリダ

藤本一勇・立花史・郷原佳以 [訳]

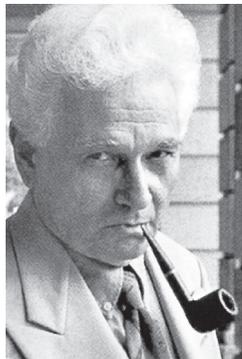
散種

Jacques Derrida, *La Dissémination*

『グラマトロジーについて』『エクリチュールと差異』『哲学の余白』と並ぶデリダの初期代表作、待望の全訳！〈書物〉の円環を破碎する「書物外」、ロゴスの真理を転覆させる薬／毒としてのエクリチュール論「プラトンのパルマケイアー」、マラルメの詩学に形而上学の脱構築を見出す「二重の会」、ソレルスのテキスト機械に接ぎ木する「散種」の四篇が織りなす、書物ならざる書物の到来！

叢書・ユニベルシタス 989 上製・四六判/予 654頁/定価 6090円(本体 5800円+税)

ISBN978-4-588-00989-1 C1310



ジャック・デリダ (Jacques Derrida)

1930-2004年。アルジェリア生まれのユダヤ系哲学者。パリの高等師範学校で哲学を専攻、同校の哲学教授を経て、社会科学高等研究院教授を務める。西洋形而上学におけるロゴス中心主義の脱構築を提唱し、構造主義以降の人文社会科学の広範な領域——文学・芸術理論、言語論、政治・法哲学、歴史学、建築論ほか——に多大な影響をもたらした。邦訳書に『エクリチュールと差異(上下)』、『絵画における真理(上下)』、『法の力』、『ユリシーズ・グラモフォン』、『有限責任会社』、『哲学の余白(上下)』、『シニエボンジュ』、『アーカイヴの病』(法政大学出版局)、『声と現象』(理想社)、『グラマトロジーについて(上下)』(現代思潮新社)、『友愛のポリティックス1・2』、『フッサール哲学における発生の問題』、『ならず者たち』(みすず書房)、『アポリア』(人文書院)、『滞留』(未来社)、『アデュー』、『来たるべき世界のために』、『そのたびごとにただ一つ、世界の終焉(上下)』(岩波書店)、『死を与える』(筑摩書房)、『精神分析の抵抗』(青土社)、『マルクスの亡霊たち』(藤原書店)ほか多数。

切り取って最寄りの書店にお渡し下さい

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-7 法政大学出版局 TEL03-5214-5540/FAX03-5214-5542

散種

ISBN978-4-588-00989-1
定価6090円(本体5800円+税)

▶2013年2月発売 (冊)

書店名・
番線

注
文
書

お名前： _____

☎

ご住所： 〒 _____